

町内の交通事故撲滅に向けて 交通安全母の会が署名簿を提出

町交通安全母の会連合会(小野寺祐子会長)が10月21日、町民4,439人が署名した「高齢者を事故から守るための署名運動」と「飲酒運転根絶署名運動」の署名簿を青木町長に提出しました。署名では、高齢者を交通事故から守るため、道路を横断するときは左右を確認する、夜間外出時の夜光反射材の着用など7つの項目と、飲酒運転根絶のため酒を飲んだら車を運転しない、酒を飲んだ人に運転をさせないなど5つの実践項目を誓いました。



平泉文化にちなんだ商品の開発へ 平泉のかをり創造プロジェクト選考会

10月23日、平泉のかをり創造プロジェクト(南洞法玲代表)主催で、町や県、観光協会などの観光関係者を招き、平泉にふさわしい香りを選ぶ選考会が役場で開催されました。

参加者は5つのサンプルの香りを確認し、平泉のイメージにふさわしいと感じたもの1つに投票。南洞代表は「平泉文化にちなんだ土産品がこれまでなかったので、町民対象の選考会と併せ、最も投票が多かった香りを3年6月に販売できるよう商品化したい」と話していました。

東稲山麓の秋を体感

ひらいずみネイチャーウォーキング

10月24日、西行桜の森にある木工芸館「遊鵬」を発着点として、自然の中で草木を観察しながら歩く「ひらいずみネイチャーウォーキング」を開催しました。東稲山麓地域の自然を体感して、健康づくりに役立ててもらおうと春の開催に続き秋も新たに企画し、町内外から31人が参加しました。

参加者は2組に分かれ、ウォーキングトレイルガイドの案内で約3kmのルートで秋の東稲山麓の景色を楽しみながら散策しました。



感謝の気持ちを育む 人権の花運動

10月30日、保育所などで6月に実施した人権の花運動のプランターの片付けが行われました。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、子どもたちと一緒に活動はせず、人権擁護委員のみでプランターの土を片付けました。

片付けの様子を園内から見守っていた長島保育所の園児たちは、片付けを終えた人権擁護委員に「きれいに片づけてくれてありがとうございました」と大きな声で感謝の気持ちを伝えていました。



令和2年度 町勢有功者表彰

令和2年度町勢有功者表彰式が「文化の日」の11月3日、役場で執り行われました。

本年度の受賞者は、加藤京さん(20区)、千葉久秋さん(2区)、千條久一さん(8区)、高橋悦夫さん(1区)、寺崎敏子さん(7区)、得田和明さん(7区)。地方自治や消防、民生の分野でそ

れぞれ長年職務に精励し、町勢の発展に顕著な功績を残した受賞者6人をたたえました。

受賞者を代表して千條さんが謝辞に立ち「受賞は個人ではなく地域全体で頂いたもの。今後も町勢発展のため誠心誠意努力する」と誓いました。

昭和54年4月1日に平泉町消防団員を拝命以来、平成21年3月31日に退団されるまでの30年の永きにわたり、常に職責を自覚し、消防業務の推進と地域住民の信頼と期待に応え、地域消防の発展に寄与されました。



ちば ひさあき
千葉 久秋さん

消防功労

昭和48年4月1日に平泉町消防団員を拝命以来、平成27年3月31日に退団されるまでの42年の永きにわたり、常に職責を自覚し、旺盛な責任感と郷土愛護の精神に燃え、消防業務の推進に尽力されました。



かとう たかし
加藤 京さん

消防功労

昭和46年4月1日に平泉町消防団員を拝命以来、平成23年3月31日に退団されるまでの40年の永きにわたり、常に職責を自覚し、消防業務の推進と地域住民の信頼と期待に応え、地域消防の発展に寄与されました。



たかはし えつ お
高橋 悦夫さん

消防功労

昭和56年4月11日に平泉町消防団員を拝命以来、平成24年3月31日に退団されるまでの30年の永きにわたり、常に職責を自覚し、旺盛な責任感と郷土愛護の精神に燃え、消防業務の推進に尽力されました。



ちじょう きゅういち
千條 久一さん

消防功労

平成4年社会福祉法人幸得会を設立以来、障がい者の「完全参加と平等」を基本理念として、グループホームやデイサービス事業、居宅介護事業を展開し、福祉サービス充実に努め、地域の福祉向上に尽力されました。



とくだ かずあき
得田 和明さん

民生功労

平成18年8月に平泉町議会議員に当選以来、副議長などを歴任され、令和2年4月に任期を全うされるまでの4期13年の永きにわたり、町議会議員として地方自治の振興、発展に尽力されました。



てらさき としこ
寺崎 敏子さん

地方自治功労